

# 創

—第31回—

## 刻石流水

先日、あの『スーパーボランティア』尾島春夫さんに別府市から感謝状をお送りしました。当然、山口県で行方不明になっていった2歳男児を無事発見、保護したことも素晴らしいのですが、それ以前にも20年以上にわたり由布岳の崩れかかった登山道の整備をしたり、案内板を設置するなどしていただきました。しかし尾島さん、「当たり前のこと



別府市長  
長野 恭紘

をしただけだから」とあまり感謝状を受け取りたくない様子。世の中には尾島さんの様にたくさん素晴らしい活動をされている方はいらっしやいます。陰で目立たず頑張っているボランティアの方々の代表として受け取っていただきたい、という私たちからの願いとして渋谷(笑)受け取っていただきました。

男児発見当時の状況を直接教えていただきましたが、やはり今日までのボランティア活動の蓄積があつてのことだったのだと痛感しました。壮絶な人生についてもお聞かせくださいましたが、そんなことを感じさせない明るさと気配りに、改めて人間力の深さを感じました。その尾島さんの座右の銘がこれまた素晴らしい。『かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め』。この刻石流水のおおもとは仏教用語だそうです。私自身も心に刻み、毎日精進してこよう。そんな前向きな気持ちになる尾島さんとの対面でした。

## トピックス通信



**夏**の終わりの風物詩  
— 8月24日～26日、べっぶ浜脇薬師祭りが浜脇温泉周辺で開催されました。「風流見立て細工」の展示や「お化け屋敷」、美しく着飾って練り歩く「花魁道中」などが行われ、沿道からは「きれ〜い」、「こっち向いて〜」との声が飛び交い、多くの見物客で盛り上がりました。



**つ**ながった9  
**つ**の縁— 8月25日、別府市初の婚活応援事業「べっぶ恋来40♥40 (SUMMER)」を開催しました。男性38人と女性31人の参加者は、海地獄と城島高原パークを巡り、食事をしながら親睦を深めました。イベントTシャツを着たスタッフが「キューピッド隊」として参加者の仲を取り持ち、参加者の3分の1にあたる9組のカップルが成立しました。冬には2回目を開催する予定です。



**地**域の環境を守る30年の活動—「春木川を守る会」が平成30年度環境大臣表彰「地域環境美化功績者表彰」を受賞しました。1988年に流域の6自治会で春木川を守る会を結成以降、河川敷の草刈りや近隣学校の児童・生徒との清掃活動など長年の環境美化活動が評価されました。



**2**020を目指す選手との交流— 2020年東京パラリンピックを目指し別府市で合宿を行ったパワーリフティングのラオス代表選手が9月4日、亀川小学校を訪れました。パワーリフティング体験をした児童は全力で持ち上げようとするも悪戦苦闘。デモンストレーションでラオス代表のピア選手が100kgのバーベルを持ち上げると大きな拍手が起きました。